

今週のセルグループ(赤字) 7月12日(日)~7月18日(土)			
セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル 北山姉	毎日曜日 礼拝後	LINE 電話	7/5 2名 「自分の常識で考えるな。」喜んで、先に希望を持って行動し続けることを教えられました。
グレイス 鈴木千姉	7/17(金) 午後8:30	鈴木宅	7/3 4名 お母さんの救い。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい、とみことばが与えられた。
Gospel 鈴木尚姉	7/26(日) 礼拝後	交わり	6/28 3名 生活の中の自分の常識よ、あっちへ行け!と捨てる。
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	7/5 3名 あまりにも気落ちしていて、頭では理解しても心や態度が全く伴っていない!と思いました。
からし種 磯貝姉		LINEで 分かち合い	7/5 9名 神はあわれみの方。どんなに悪かろうと立て上げてくださると励まされました。
ユース 岩下兄	7/19(日) 礼拝後	LINE 電話	7/3 2名 礼拝でのいやしの祈りを同じようにして祈った。貧血がいやされていくのを体にした。
Rock 鈴木洋兄	7/15(水) 午後8:30	鈴木宅	7/1 1名 中止しました。
シャローム 平岩姉	7/25(土) 午前10:00	平岩宅	6/27 3名 喜んで仕事をする、飽くことなく愛を示すこと。
なつめやし 高橋智姉	7/19(日) 練習後	高橋宅	7/5 4名 自分から出てくるものは間違っている。そんな悪魔の働きを退けている。
リジョイス 杉本姉	7/21(火) 午前10:15	未定	6/25 2名 自分の都合によらず、主がせよと言われたら、時間を擱げて喜んで仕えていきたい。
ジョイフル 穂苅兄	7/16(木) 午後9:00	Zoomで 分かち合い	7/2 4名 セルリーダーのためにお祈りください。
アガベ 長塚姉	7/12(日) 練習後	コミュニティー センター	6/28 4名 セルリーダーのためにお祈りください。
サクセス 鈴木勝兄	7/12(日) 練習後	テラドロー 名駅	6/28 8名 時間の無駄だから話をしたくないと「見返りを求めていた」ことに気付かされた。
リーダーズ セル	8月はお休み	Zoomで 分かち合い	
セル研修	休講		
羊・ビジョン 平岩恵兄	毎日曜日 午後1:00	コメダ	7/5 4名 家族の救い、仕事の祝福を本気で信じていないことに気づかされた。
worship 長塚寛兄	中止		
中学生 梅田姉	中止		
キッズ2 小山姉	中止		
キッズ1 芳井姉	中止		
Shine 小原姉	7/25(土) 午後6:30	エステル	
ギデオン 芳井兄	お休み		
カルバリ 野田兄	7/21(火) 午前11:30	野田宅	6/16 6名 遅刻をやめたいと思う自分とまた遅刻をしてしまう自分。主にすがりたい思い。
神の家族 伊岐見真姉	7/12(日) 午後7:30	交わり	6/28 2名 誰でも受け入れたい、笑顔で迎えたいと思いました。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈祷会	
		司会	奏楽		奏楽
今週	7/12(日)		鈴木千姉	7/16(木)	鈴木尚姉
来週	7/19(日)		大高愛姉	7/23(木)	鈴木尚姉
		開始時間 午前10時			
		開始時間 午前10時			

※ 7/15(水)の浜松バイブルスタディは休講です。

※ 7/19(日)礼拝後、洗礼式を行います。祝福をお祈り下さい。

※ 8/13-14(木・金) 全国聖会 参加申込受付中。
場所 姫路キャッスルグランヴィオホテル 現地集合です。

祈りの課題

- ・人々の救いを覚えて
 - ▶ 家族知人をキリストへ
 - ▶ 教会近隣の人々の救い
 - ▶ 東海地方の救いのために
 - ▶ 日本の救いのために
 - ▶ 世界の救いのために
- ・働きを覚えて
 - ▶ バイブルスタディの働き
 - ▶ リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶ リバイバルママズの働き
 - ▶ 那古野アウトリーチの働き
 - ▶ 祈祷会の祝福
 - ▶ 日曜礼拝の祝福
 - ▶ 牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
- ・セルグループの祝福
 - ▶ LIG人生変革グループの祝福
- ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜) (第一) 午前 9:00~10:30
(第二) 午前11:00~12:30

キッズセル(子供礼拝) (日曜) 午前 9:00~10:30

日曜礼拝バイブルスタディ (日曜) 午前11:00~12:30
☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。

バイブルスタディ (第1、第3火曜) (昼) 午後 1:00~ 2:30
(夜) 午後 7:00~ 8:30

祈祷会 (木曜) 午後 7:00~ 8:30

特別早天祈祷 (土曜) 午前 6:00~ 7:00



主の御手 週報 NO.1303

2020年7月12日(日)発行 7月第2週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、
(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始10時

- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧になってどうぞ。)
- ・自由献金 (本日は、プレーヤーハウスのための献金が特別にあります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・連絡

お願い

- (1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
- (2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄りようお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ [感謝] すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたに望んでおられることです。(テサロニケ人への手紙 第一5章18節)

日曜日は教会へ



主の御手がともにある

名古屋バイブルチャーチ

〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝



「マタイ6：11 私たちの日ごとの糧を、今日もお与えください。」

日ごとの糧

ダッバーワラー

「スタンリーのお弁当箱」というインド映画があります。主人公のスタンリーは小学4年生で、明るくてクラスの人気者です。お昼になると、友だちはみんなお母さんが作ってくれたお弁当を食べますが、スタンリーはお弁当を持って来ることができず、いつも水道の水を飲んでいました。それを見た子どもたちは、自分たちのお弁当を分けてあげるのですが、意地悪な教師に見つかって叱られ、スタンリーは学校に行かなくなってしまいます…。児童労働の問題を扱った映画なのですが、一般の子どもたちを集めて映画のワークショップをする中で撮影されたため、カメラがあることを知らされていない子どもたちの生き生きした表情がとても魅力的な映画です。そして、子どもたちが食べているお弁当が

またとてもおいしそうで、魅力的なのです。

この映画の中に、「ダッバーワラー」というお弁当の配達業者が出て来ます。ダッバーは、金属製で三段重ねのインドのお弁当箱のことです。家庭で作ったお弁当を、職場や学校へ届けてくれる業者ですが、手押し車や自転車などで一人で一度にいくつものお弁当箱を運び、正確な時間に届けてくれるそうです。インドの都市ムンバイで100年の歴史を持つ職業だそうですが、こんな職業があることに驚きました。最近日本でも、自宅に料理を届けてくれる「ウーバーイーツ」が流行っていますが、人は食べることには惜しまず情熱を注ぐものだな、と思わされます。

エッセンシャルワーカー

コロナ禍で、エッセンシャルワーカーということばを聞くようになりました。たとえば、医療関係者、介護に携わる人、運送や宅配のトラックの運転手、ごみ収集に携わっている人、スーパーマーケットのレジ係、警備員など、人々が外出自粛をしている中で、感染のリスクを負いながらも、現場で働き続けていた方々のことです。「エッセンシャル」とは英語で「必要不可欠」という意味で、私たちの基本的な生活に、なくてはならない職業ということです。外出を控えるといっても、人は誰もが食事をしなけ

れば生きていけませんから、スーパーやコンビニで働く人やごみ収集をしてくれる人がいてくれないと困ってしまいます。各国の大統領や首相がスピーチの冒頭に、エッセンシャルワーカーの方々に敬意の意を述べる報道もありました。コロナ禍で、人々がエッセンシャルワーカーの重要性に気づき、感謝の気持を持つようになったことは、コロナ禍がもたらした良いニュースです。それにしても、人はどんな状況でも食べることだけは省略できないんだと、痛感させられます。

主の祈り

冒頭のみことばは、イエス様が弟子たちに教えた「主の祈り」の中の一節です。「主の祈り」は、神様が私たちに、ご自分に何を願うことを求めておられるかを教えるみことばです。「**私たちの日ごとの糧を、今日もお与えください。**」という一節は、今日必要な食べ物を求める祈りです。食べ物はいのちと直結しています。イエス様は、「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる（マタイ4：4）」と言われ、人はみことばに従わなければ生きていけないことを教えられました。同じように私たちは文字通りの「パン」も食べなければ生きていくことができません。神様は私たちの食べ物にも関心を持ってくださる方です。親は子どもが十分に食べているかどうか、い

つも気にかけているものです。そして子どもは親に、「お腹空いた、何かちょうだい」と臆面もなく求めます。それと同じように、「お父さん、今日食べる物を与えてください。」と神に求めなさいと言っておられるのです。そんな親密な関係を、神様が私たちと持ってくださいることを感謝します。

日ごとの糧を与えてくださる主

私たちが「**私たちの日ごとの糧を、今日もお与えください。**」と祈る時、ともすると、もう与えられているのに何故祈らなければならないのかと思うかもしれません。おそらく今日食べるものが何もないという人は、少なくとも今の日本にはほとんどいないでしょう。しかし、私たちが糧を得るために働くことができる毎日の生活こそが、神様の恵みであることに気づかなければなりません。今日仕事に出かけられるのは、また家事をすることができるのは、神様がやる気と健康を与えてくださっているからにほかなりません。さらに穀物や野菜が実り、家畜や魚が育つのも、いのちを司っておられる神様のわざです。神様が働いてくださらなければ私たちは何も手に入れることなどできないのです。毎日心をこめて、神様に「日ごとの糧」を求めて祈りましょう。